

鳥取市市政改革プラン実施計画
外部評価結果報告書(素案)

令和4年3月 日

鳥取市市政改革推進市民委員会

《 目 次 》

委員名簿	P1
1. 委員会の目的	P2
2. 委員会の開催経過	P2
3. 外部評価の内容	P3
4. 評価の結果	P4
(1) 鳥取市市政改革プラン実施計画の担当課評価への外部評価 ...	P4
(2) 個別の実施計画に対する評価および改善案の提言	P4
地域住民との連携による公共交通の維持・確保	P5
若者の参画促進	P6
女性活躍の推進	P7
廃校の有効活用の検討	P8
資料: 二次評価票(令和2年度実績分)	巻末添付

第10期鳥取市行財政改革推進民委員会名簿

任期:令和2年7月7日~令和4年3月31日

氏名	所属	役割	備考
やました ひろき 山下 博樹	鳥取大学地域学部	委員長	
かわさき まこと 河崎 誠	日本海ケーブルネットワーク株式会社	副委員長	
かわぐち ゆみこ 川口 有美子	公立鳥取環境大学環境学部	委員	
たけもと たけし 竹本 剛	鳥取ふるさとUI会	委員	
たむら やすえ 田村 康悦	鳥取商工会議所青年部	委員	
なかい みずほ 中井 みずほ	Tottori Mama's	委員	
むらお まさひこ 村尾 昌彦	連合鳥取東部地域協議会	委員	
わかやま たかゆき 若山 敬之	株式会社鳥取銀行	委員	
かし まい 岸 舞	公募委員	委員	
おくむら きら 奥村 稀良	公募委員	委員	

1. 委員会の目的

市民委員会の役割は、「鳥取市市政改革推進市民委員会設置要綱」で以下のように定められています。

- ・市政改革プランの決定、推進及び見直しに際し、意見を述べること。
- ・行財政改革の推進に関する重要事項について、調査審議を行うこと。
- ・市政改革プラン実施計画の結果に対して、評価を行うこと。

2. 委員会の開催経過

市民委員会では、任期中(令和2年7月7日～令和4年3月31日)に次のとおり会議を開催し、鳥取市市政改革プラン及び実施計画の外部評価を実施しました。

	開催日	主な内容
第1回	令和2年 7月7日	鳥取市市政改革プラン及び市民委員会の説明
第2回	10月16日	6次大綱の成果報告及び市政改革プラン各柱の主要な課による取組の説明(行財政改革課)
第3回	11月19日	市政改革プラン各柱の主要な課による取組の説明(職員課、協働推進課)
第4回	令和3年 2月3日	市政改革プラン各柱の主要な課による取組の説明(情報政策課、資産活用推進課)
第5回	3月30日	市政改革プラン各柱の主要な課による取組の説明(子ども家庭課)
第6回	5月27日	市政改革プランの進捗報告及び二次評価の説明
第7回	8月24日	二次評価の実施(グループワーク)
第8回	10月4日	二次評価結果の共有及びヒアリング対象事業の選定
第9回	11月12日	担当課ヒアリングの実施
第10回	令和4年 2月 7日	・担当課ヒアリングの結果を基にした委員会意見の集約 ・外部評価結果報告書の協議
第11回	月 日	

3. 外部評価の内容

(1) 鳥取市市政改革プラン実施計画の担当課評価への二次評価

評価対象	令和2年度実績(73 実施計画)
評価期間	令和3年6月7日～令和3年6月25日
評価方法	各実施計画の評価シート(担当課自己評価済み)を確認し、令和2年度末時点の担当課評価の妥当性について外部評価を実施した。

※巻末資料(二次評価票)参照

(2) 個別の実施計画に対する評価および改善案の提言

評価対象	<p>市民委員が選定した4 実施計画</p> <table border="1"> <tr> <td>① 地域住民との連携による公共交通の維持・確保</td> </tr> <tr> <td>② 若者の参画促進</td> </tr> <tr> <td>③ 女性活躍の推進</td> </tr> <tr> <td>④ 廃校の有効活用の検討</td> </tr> </table>	① 地域住民との連携による公共交通の維持・確保	② 若者の参画促進	③ 女性活躍の推進	④ 廃校の有効活用の検討
① 地域住民との連携による公共交通の維持・確保					
② 若者の参画促進					
③ 女性活躍の推進					
④ 廃校の有効活用の検討					
評価期間	令和 年 月 日(第 回委員会)～令和 年 月 日(第 回委員会) 【ヒアリング実施日】 令和3年11月12日				
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・二次評価(グループワーク)において、実施計画の改善に繋がるような意見があったものや、担当課との意見交換の要望のあった11 実施計画をヒアリング候補とし、そこから4 計画を選定し評価対象とした。 ・各実施計画の評価シートの確認に加え、担当課との意見交換なども行うことで、さらに詳細な取組内容の評価を行った。また、その結果を基に、新たな取り組みへの提案を実施した。 				

4. 評価の結果

(1) 鳥取市市政改革プラン実施計画の担当課評価への二次評価

担当課が実施した令和2年度の各実施計画における自己評価の妥当性を二次評価した結果、評価の視点によっては委員の中で評価が分かれるものもありましたが、全体を通して概ね「妥当である」との評価となりました。一方で、担当した委員全員が「妥当でない」としたものもあり、担当課におかれましては適切な評価を実施いただきたいと思います。

また、全体を通して、記載内容が具体的ではなく、補足説明がなければ「分からない」との評価もあり、一次評価の結果だけではなく、評価の記載方法や目標の設定方法など、市政改革プランの進捗管理そのものについての課題も見受けられました。

(参考:全73実施計画、全員が「妥当である」としたのが60計画、全員が「妥当でない」としたのが3計画、「分からない」があるのが5計画、その他評価が分かれたのが5計画)

下表では、市政改革プランの実実施計画全体に共通する事項として、委員から挙げられた意見を取りまとめました。

意見	内容
評価シートの書き方について	<ul style="list-style-type: none">全体を通じて、数値や具体的な記載がないものが多く、補足説明を聞かなければ評価ができないものがあつた(例:「〇〇を行う」という計画に対して「〇〇を行った」とだけ実績が記載されている等)。具体的にどのようなことをするのかを明確にし、それに対する実績を記入いただきたい。行政用語、専門用語が使われている、あるいは日本語がおかしい表記や長文すぎるなど、市民目線で見分りにくいものが見受けられた。また、行政組織の構造を熟知していないと分りにくいものもあつた。一般市民が見ても分かりやすいような表現で記載いただきたい。計画の5年間の年度ごとの目標が具体的に設定されていると、評価する側もやりやすいのではないかと。
指標の設定について	<ul style="list-style-type: none">指標設定の根拠が示されておらず、設定された指標が適切かどうか判断できなかった。指標設定の根拠を示す必要があるのではないかと。
進め方について	<ul style="list-style-type: none">各部署を横断するような取り組みの進捗が停滞しているように感じる。複数の部署が絡む計画は全体を巻き込んで進めていくことがより一層必要ではないかと。どこにアプローチするのか、どうやって進めるのかを具体的に描いたうえで取り組まないと、具体的な評価ができないのではないかと。もっとスピード感を持って取り組むべき。また、制度を開始して終わりではなく、効果検証や見直しを実施することも計画に反映されたい。

※個別の評価およびコメントについては巻末資料「二次評価票(令和2年度実績分)」を参照。

(2) 個別の実実施計画に対する評価および改善案の提言

市民委員により選定された4つの実施計画について、担当課との意見交換等も行いながら評価した結果として、その妥当性や今後の取り組みに関する提案等を実施計画ごとに取りまとめました。

実施計画別 外部評価結果

ヒアリング実施日:令和3年11月12日

実施計画	地域住民との連携による公共交通の維持・確保
担当課	交通政策課
現状	
<p>鳥取市では、公費負担の増大や運転者不足により、地域交通の軸となるバスや、タクシーの確保が困難になり、地域の実情に応じた持続可能な地域交通の確保が急務になっている中、不採算バス路線への再編に当たり代替交通としてタクシー事業者が運行する乗り合いタクシー、NPOやまちづくり協議会が主体の地域による共助交通の導入の推進を進めている。</p> <p>令和2年度は、路線バス等が廃止、減便になる佐治、青谷地域で検討会を開催し、地域ごとに実情に合った生活交通のあり方の検討や、生活交通に関する住民の意識調査を実施したほか、佐治地区では共助交通の本格運行に向けた実証運行を実施した。併せて日本交通、日ノ丸自動車のバス路線の再編に向けて各事業者との検討を重ねている。</p>	
委員会意見	
<ul style="list-style-type: none">・この取り組みは、地域住民との連携が一つのポイントだと思う。・交通弱者の方のことを思うと、交通手段を確保していかないといけないと感じている。支える側だけではなく、使っている方の声を十分に反映できる仕組みがあればいい。・バスが走らなくなると、不便なところというラベリングがされて地価も下がるし、移住を考えている人にネガティブな印象を与えかねない。単に足がなくなるという話以上に様々な問題が生じるので、できる限り工夫しながら維持していただきたい。・共助交通は、地域内でコミュニティがある場所が発展しやすく、将来的には世代交代も必要になる取り組みだと思う。・交通に関しては全国的に、課題解決というよりも延命措置的な取り組みになってしまっている。海外には、鳥取市よりも小さな人口規模で立派な公共交通を維持している国や地域がたくさんあり、大半が地域のインフラとして考えている。日本のように、民間事業者の営利事業だと考えている国はほとんどないことを考えると、SDGsの目標である、「住み続けられるまちづくりを」からは大きくかけ離れており残念な気がする。・市としてもっと他の分野と連携してメリット（波及効果）が大きい交通網を整備するなど、今までと発想を変えていかないと、できることが少なくなってしまう。交通に関してはそれが特に顕著に表れていると思う。	

実施計画別 外部評価結果

ヒアリング実施日: 令和3年11月12日

実施計画	若者の参画促進
担当課	協働推進課
現状	
<p>鳥取市では、地域コミュニティが、自治会の加入率低下や地域活動への若者参画の減少などで、活動が停滞してきている中、まちづくりに大学生が積極的に参画できる環境を作る取り組みを進めている。事業の目的として、若者の参画による地域の活性化、新たな魅力と価値の創造、まちづくりに積極的に参画する人材育成の3つを挙げている。</p> <p>令和2年度は、修立、美保南、明徳の3地区で実施した。</p> <p>近年の傾向として、SNSやICTなど、若者の視点が生かされた取り組みや、新しい切り口で課題解決に取り組む企画ができています。一方で、若者の移動手段の確保や、地域の担い手育成、公民館職員の資質向上などに課題があり対応を検討しているほか、若者の視点で地域課題の解決に挑戦する地区に対しての支援も検討している。</p>	
委員会意見	
<ul style="list-style-type: none"> ・学生は中心市街地に住めばいいのではないかと。地域のコミュニティにも入れるし、みんなで空き店舗に住んでいろいろな活動もできる。そういったことに対する評価もあれば面白いのではないかと。 ・中山間地の方が空き家が多いので、タダで1年間空き家に住んでもらって一緒に活動しないかと言えば、面白がって住んでみよう、という学生は出てきそうな気がする。 ・この取り組みをできれば長期的に、複数年に渡って継続された方がいいと思う。 ・何となくただ学生が楽しんで、地元の人と一緒に事業をやって、よかったというレベルでとどまってしまうと、学生が来なくなった後には続かなくなるという課題もある。 ・今後この活動自体を続けていく上で、成果の蓄積を考えたときに、地域のニーズや課題に学生がうまく応えるところまで結びつけていけるのかということだと思う。 ・全市的に若者にまちづくりに関わってもらおうと思ったら、もう少し予算を確保して積極的に学生に声をかけてもいいのではないかと。 ・学生にとって楽しいバイトで終わっていないかが心配に思った。 ・地域や公民館側としても、市から補助をもらって若い人が手伝いに来てくれてありがたいぐらいに終わってなければいいかという危惧を感じた。・今後大学生以外に広げていくとなった時に、市と繋がり深い企業に声をかけてみるということも、試してみても面白いと思う。 ・若者が手伝いに来てくれるならもっと手が挙がってもよさそうだが、公民館側にデメリットを感じて手が挙がらない状況があるのではないかと考えた。 ・今では高校も、教科の授業だけでなく、外に出ていくような活動や学びの機会を重視するようになってきている。大学生ほど自由度はないかもしれないが、単発的なボランティアでもいいので、みんなで助け合いながら地域を盛り上げていこうという視点を持ってもらうものがあるといい。 ・若者の参加促進ということで、ユニークな取り組みであるし、これがいい方向に発展していけたらいい。 	

実施計画別 外部評価結果

ヒアリング実施日: 令和3年11月12日

実施計画	女性活躍の推進
担当課	職員課
現状	
<p>令和2年4月に特定事業主行動計画をリニューアルし、女性職員の登用率向上、男性職員の育児休暇の取得向上、事務の簡素化、合理化の推進などの取り組みを実施している。</p> <p>令和2年度は、育児休業中の通信教育などの受講料の補助や、育児休業の利用方法や制度についての周知と収入面でのモデルケースの掲示、事務の効率化を目的としたAI・RPAの8業務に対する試行的な導入などを行っている。</p> <p>令和3年度には全庁的にテレワークの実証実験を行っており、今後どういった業務が適しているのかを検討していく。</p> <p>女性活躍の推進のための取り組みについては、アンケートを行うなど今後も職員の意見を聞きながら取り組みを進めていくこととしている。</p>	
委員会意見	
<ul style="list-style-type: none">・取り組みが進んでいく中で、実際に市の職員の感想や評価として、良くなっているという実感がどれくらい上がっているのかというところだと思う。・いわゆる働き方改革として、勤務時間の問題や、いろいろなところでの配慮を柔軟にすることで働く人の受けるイメージや満足度が大きく変わってくる。・現場で非常に活躍しており、組織としては管理職に上がって欲しいという方がいても、管理職になりたがらないといったジレンマがあるのではないかと推測している。・数値目標を掲げただけの取り組みではうまくいかず、いろいろな環境を整えないと、ただ負担を増やすだけになるところが、すごく難しい部分だと感じた。・世界的な統計でも日本の女性の参画率が低いとよく言われているが、そこだけで考えていても改善していかないというのが、共通した理解だと思う。・女性の力が求められているという認識を広げることで、女性の意識を変えて、その気になってもらうことも必要ではないか。・研修機会の提供に関連して、研修メニューはたくさんあるが、仕事が忙しい中で受講しようと思うと、負担が増えてしまう。やる気のある人の背中を押すようなサポートがあると、もっと利用が増えていくのではないか。・管理職に女性になりたがらないということについて、今の管理職がしんどい姿を見せてばかりなのではと想像する。管理職の働き方の部分が重要なのではないか。・育児休業中もテレワークで仕事してもいいのではないか。子どもは手がかかるので育児休業後も休む機会が多い。後々家で勤務できる道筋を作っておけばよい。・育児休業中にポイントのようなものを貯めて後で使うといったことができれば便利ではと思った。・女性のキャリアアップについて、家庭も仕事も両立させている女性の管理職にPR活動してもらえれば、意識も変わるのではないか。管理職にインタビュー調査などを行った研究では、近くにモデルになる人がいたケースが多いという結果が出ている。・大学生向けの職員採用募集でもアピールしてはどうか。具体的な活躍のイメージを入口のところから持たせないと続いていけないと思う。	

実施計画別 外部評価結果

ヒアリング実施日:令和3年11月12日

実施計画	廃校の有効活用の検討
担当課	教育総務課
現状	
<p>統廃合されて、既存の行政目的がなくなった学校の利活用について、地域コミュニティの核という性格をあわせ持っていることも踏まえ、地域住民と十分協議しながら検討することとしている。</p> <p>現在利用が決まっていない学校として、令和元年度末に廃校となった神戸小学校と、江山中学校がある。そのうち、旧神戸小学校については、令和2年度にサウンディング調査を実施し、民間事業者との直接対話により、利活用の可能性を最大限に高めるための様々な意見交換を行った。その中で施設活用の問題点として、施設改修も含め、維持管理コストが高くなる傾向にあることなどの意見をいただいた。</p> <p>それらの意見を踏まえ、今年度には、民間提案制度を活用して、民間事業者からの提案を公募している。</p>	
委員会意見	
<ul style="list-style-type: none">・民間での活用よりも地域の利用が優先されていて、それが逆に足かせになっている部分もあるのではないか。・廃校になった校舎をどのように活用していくのか。交通や若者の参画といった取り組みの受け皿として大いに活用できる可能性を秘めているのではと思った。・地元の公共的な財産としての位置付けもあるので、売却など思い切ったところまで話を進めるのが難しいかもしれないが、地元の理解も得ながらそういうこともできるようになると、今後、鳥取市内のまちなかでも事例が出てくる可能性があると思う。・現状の活用だけだと、なかなか十分に活用されていると評価されにくい。・地元の方が少しでも使うということは、民間の人が存分に利活用ができない。校舎だけどうかと言われても、なかなか手が挙がりにくいのではないか。地元の方の思いも分かるが、どのように折り合いをつけていくのがいいのかが今後の課題かと思う。・廃校の利活用について、地域の活性化につながる希望を持てるような情報や知識が地元の方に十分に伝わっているとは思えない。市として、住民に希望を持ってもらえるような説明の仕方や、利活用の対象範囲が今後の課題だと思う。近い将来、学校が統廃合されることがほぼ決まっている地区もあるので、急ぎ検討いただきたい。	

市政改革プラン実施計画二次評価票(令和2年度実績分)

巻末資料

【担当課自己評価】A:計画を上回っている、B:概ね計画通り、C:計画より遅れている、D:未着手

柱1 多様化する市民ニーズへ対応するための協働・連携体制の強化

施策 市民と共に目指す満足度の高い行政サービスの実現

細施策 市民ニーズに沿った行政サービスを提供できる仕組みの構築

管理番号	実施計画名	二次評価結果			担当課自己評価	コメント欄
		妥当である	わからない	妥当でない		
111010	地区公民館の地域運営(希望する地区での指定管理制度の活用など)	5	0	0	B	・佐治地区は高齢化が進んでいるものの、合併以前から住民の活動が活発な地域だったので、先行事例としては適当だったのだろう。
111020	ボランティアマッチングの推進	5	0	0	C	・ボランティアとのマッチングの仕組みなど基本的なことの再検討が必要となるなど、かなりの遅れと見受けられた。 ・新型コロナウイルス感染症の影響で、ボランティア受け入れ側も行事等が中止となったりしているのだろうと察した。 ・市民活動の促進に資する効果的な取り組みなので、他地域の事例などを参照し速やかにスキームの構築に努めてもらいたい。
111030	道路破損・災害時等における外部通報システムの構築	4	0	1	C	・コロナ禍での全部署での利用可能なシステムへの改良は必要な判断であったと思われる。 ・運用開始時期としては遅れているかもしれないが対策としての延期の為、計画の遅れといった評価ではなくB評価でもいいのではないかと思う。 ・災害時に困る社会インフラが通報システムがあることによって、市民の安心になるとよいと思うが、市民への周知をしっかりとできたらよいと思う。
111040	地域住民との連携による公共交通の維持・確保	5	0	0	B	・共助交通運行主体の育成・確保に関する支援制度の改正に関する取組状況は不明である。 ・地域公共交通に対する考え方はとても重要視する必要がある、引き続き前向きな協議を展開してもらいたい。

細施策 地域を支えるための行政の支援推進

管理番号	実施計画名	二次評価結果			担当課自己評価	コメント欄
		妥当である	わからない	妥当でない		
112010	若者の参画促進	4	1	0	B	・「3地区公民館にて10人の参加」で「B:概ね計画通り」と言えるレベルなのか、分からない。 ・私が暮らす地区公民館では大学生企画などもあり、若者が地域に関わることは子どもたちにとってもよい影響となると思う。 ・個別成果指標の5年間で50人というのが適正なのかどうか。中身の問題なのか、数の問題なのかも含めて、もう少し分かりやすくしてもらいたい。

112020	職員等の派遣の推進	5	0	0	A	・計画の制度内容の検討から制度を構築へとできている。
112030	協働内容の精査	4	1	0	B	・検討内容、検討方法などが具体的に書かれておらずよく分からない。

施策 民間活力の導入による質の高い行政サービスの提供

細施策 適切な業務分担による外部委託の推進

管理番号	実施計画名	二次評価結果			担当課 自己評価	コメント欄
		妥当である	わからない	妥当でない		
121010	保育園の民営化	5	0	0	B	・民営化によりコストなどの問題は解決していると思う。引き続き保育の質の維持・向上に努めていただきたい。
121020	保健所業務に係る手数料収納業務の外部委託	5	0	0	B	
121030	外部委託等推進方針の見直し	3	1	1	B	・先進地視察ができずに、Webサイト等の参照で詳細は把握できていない状況で、計画通りとは言えない。他自治体の担当課と情報交換を行うなどして初めて計画どおりと言えるのではないか。 ・5年間の取組計画にスピード感が感じられない。計画の前倒しの検討をされたい。 ・担当課自己評価より「方針の見直しにあたり更なる調査が必要」とあるが、具体的な調査の中身が気になった。

細施策 民間への情報提供及び事業参入の推進

管理番号	実施計画名	二次評価結果			担当課 自己評価	コメント欄
		妥当である	わからない	妥当でない		
122010	オープンデータの推進	3	2	0	C	・単年度計画の取り組み内容が具体的でないため、進捗を評価検証できない。 ・外部講師を招く研修は中々難しいと思われるが、オンラインによる研修が出来なかったのか。 ・職員研修、オープンデータの推進として具体的な目標設定が必要で、このままでは次年度以後も評価検証できない。工程表も含めて中身が見えにくいいため、もう少し具体的な表現内容に変えていただきたい。 ・市HPには基礎情報が欠けていることもあるので留意していただけたらありがたい(例えば、市内にある保育園の一覧がない等)。

122020	NPO・企業からの協働事業提案制度の推進	5	0	0	B	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で視察ができない状況のなかでも研修参加などで研究をされている。 ・5年間の取組計画にスピード感が感じられない。すでに同様の制度があるのであれば、計画の前倒しの検討をされたい。 ・建物などの箱があつて、そこに事業提案を募集するのはよいと思った。箱がない場合の、事業提案が民間でできる場があればよいと思った。
--------	----------------------	---	---	---	---	---

柱2 時代の変化に即応できる組織体制の構築

施策 柔軟かつ適正な業務遂行のための職員力・組織力の向上

細施策 積極的な課題解決に挑む職員の育成

管理番号	実施計画名	二次評価結果			担当課 自己評価	コメント欄
		妥当である	わからない	妥当でない		
211010	職員のコスト意識の醸成	5	0	0	C	<ul style="list-style-type: none"> ・年度計画の内容に具体性が乏しく、戦略的な取組でないように思われる。財政状況の説明だけでなく、コストカットなどの具体案を考えるなども必要では。 ・市民へのサービス向上のためにはもっと予算を付けてほしいと願う職員も多いはずである。コスト削減意識の強化と合わせて、どうしたら財政の最適化が図れるのかを考えられる研修等であってほしい。
211020	職員のICTスキルアップ	5	0	0	B	
211030	職員提案の充実	5	0	0	B	<ul style="list-style-type: none"> ・事業化の対応、検討中が半数以上あったため。 ・評価の観点で職員提案数や提案のしやすさの改善などにあるが、本来は提案のうちどれだけ改善に結びついたかが目標になるべきではないのか。
21040	職員の自主的な活動支援	0	0	5	B	<ul style="list-style-type: none"> ・制度の内容が実施されていないのに、何をもって計画通りと評価しているのか不明である。 ・新型コロナウイルスの関係で、活動自体推奨されていない取り組みをどう評価していくべきなのか分からなかった。 ・コロナ禍でも自主的な活動が継続できるように、例えばオンラインの活用支援など、違った観点からの検討が必要になるかもしれないが、着実に進めていただきたい。

細施策 誰もが働きやすく能力を発揮できる組織体制の構築

管理番号	実施計画名	二次評価結果			担当課 自己評価	コメント欄
		妥当である	わからない	妥当でない		
212010	フレックスタイム制度の導入	5	0	0	B	

212020	女性活躍の推進	5	0	0	C	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響で研修は実施できずだが、他は計画どおり。 ・特定事業主行動計画に基づく取組とあるだけで具体的に何を行うのか不明で戦略的ではない。
212030	障がい者雇用率の拡大	5	0	0	B	<ul style="list-style-type: none"> ・法定雇用率以上の維持と受け入れ態勢の検討だけでなく、正規職員での採用を増やすなど質的改善も検討されたい。
212040	メンタル休職者の削減、ハラスメント対策の徹底	5	0	0	B	<ul style="list-style-type: none"> ・評価結果に対しては特にないが、取組の内容は十分とは言えない。 ・ストレスチェックや相談などは対処療法的取組で、ハラスメントなどストレスが極力発生しない職場にするための取組が少ない。職員による上司評価などの取組はできないか。 ・ストレスチェック受検率100%を「個別成果指標」に据えていることが首肯しがたい。重要なのは受検(回答)の後の対応であると思われる。100%の受検により、休職者数やハラスメントが減るわけではない。

細施策 内部統制機能の強化

管理番号	実施計画名	二次評価結果			担当課 自己評価	コメント欄
		妥当である	わからない	妥当でない		
213010	組織内統制プロセス及び体制の整備	4	1	0	B	<ul style="list-style-type: none"> ・計画では事例研究に取り組むとあり、それを実施したから計画通りといえるのか判断できない。必要かつ十分な事例研究ができたかが判断基準ではないのか。
213020	業務におけるリスクの洗い出し、課題の整理	5	0	0	B	<ul style="list-style-type: none"> ・「先進自治体におけるリスク一覧及びリスクの重大性の評価について事例研究を行った」とあるが、概略過ぎてわからないため、評価しかねる。 ・評価シートを見ただけで評価できるように、具体的な記述を心がけていただきたい。 ・「213010組織内統制プロセス及び体制の整備」と似たような内容であれば統合してもいいのではないか。
213030	コンプライアンスの推進	5	0	0	C	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響で実施ができなかったとのことで判断 ・コンプライアンス研修の実施だけなら取り上げる必要はない。その成果として何を指すのかが大切なのではないか。そもそも公務員にコンプライアンス研修が必要なのが問題だと思う。 ・コロナ禍でもある為、開催出来る方法を模索して研修を実施していく必要があると思う。
213040	内部通報制度の活用	5	0	0	B	<ul style="list-style-type: none"> ・取組が形骸化しているように思われる。 ・通報がない状態が続いているのなら、制度の改善の必要性がないのか検証するべきではないか。

施策 働き方の見直しによる生産性の向上

細施策 時間外勤務の抑制に向けた取組の強化

管理番号	実施計画名	二次評価結果			担当課 自己評価	コメント欄
		妥当である	わからない	妥当でない		
221010	適切な労務管理による時間外削減	5	0	0	B	・職員の自宅での仕事持ち帰りなど、負担の不透明化の実態などはないかなど、実質的な働き方改革となっているかも検証されたい。
221020	繁忙期の人的支援(横断的な応援体制の構築)による時間外削減	5	0	0	B	・兼務する職員の負担軽減のためにも、繁忙時期が明らかな業務については計画的に兼務計画を立てておくなども検討されたい。
221030	効率的に業務を遂行する職員への評価制度	5	0	0	B	
221040	ICTを活用した職員の早期帰宅推奨	5	0	0	C	・測定後の分析が未実施で、ツールの具体的検討に入っていないのかなど判断。 ・さらに効果的な方法の検討を継続していただきたい。

細施策 事務の共通化・集約化による業務執行の推進

管理番号	実施計画名	二次評価結果			担当課 自己評価	コメント欄
		妥当である	わからない	妥当でない		
222010	電子文書化の推進	5	0	0	C	・効果額も大きいことから、推進の加速化を期待したい。
222020	物品購入、支払いの一括管理	5	0	0	B	・いままでこうした取組がされていなかったことに驚いた。早急に駅南庁舎でも導入されたい。 ・「222010電子文書化の推進」と一体的に進める必要があるのではないかな。
222030	駅南庁舎所属の消耗品の一括管理	5	0	0	B	
222040	共有フォルダの管理ルールの徹底	5	0	0	B	・計画の検討から、ルールの案を作成することができている。 ・成果指標の全庁ルールの浸透率は、100%に設定しないと効果が低いのではないかな。80%で妥協できる理由が不明。
222050	効率的な会議運営の推進	5	0	0	B	・工程表の年度計画にスピード感が感じられない。3年目には早く本格運用できるのではないかな。

222060	電子会議等の推進	5	0	0	A	<ul style="list-style-type: none"> ・上の「222050効率的な会議運営の推進」と合わせて検討されるべき。 ・会議数の確認は取れるものの、個別成果指標(延べ5000人)に対する現状はどうか。 ・オンラインの活用促進はメリットだけでなくデメリットも当然あるので、対面開催も残されたらと思う。場面ごとに使い分けられるような運用ルールの策定が必要。 ・運用ルールは策定したのか明記がない。 ・電子会議というのがどこまでの範囲を指しているのか分かりにくい。
--------	----------	---	---	---	---	--

細施策 AI・RPA等の活用による業務の改革

管理番号	実施計画名	二次評価結果			担当課 自己評価	コメント欄
		妥当である	わからない	妥当でない		
223010	AI・RPAの導入	5	0	0	B	<ul style="list-style-type: none"> ・初期投資が高額になるので、しっかりと活用されたい。
223020	モバイルワークの推進	0	0	5	B	<ul style="list-style-type: none"> ・職員研修が未実施で、モバイルPCの活用率も5%にとどまっていることから、計画通りとは言い難い。 ・コロナ禍であっても効果的な周知方法を検討されたい。 ・進捗状況にはモバイルワーク利用があったことの記載がないが、自己評価には記載があるため、進捗状況にも記載が必要ではないか。
223030	電子入札・契約の促進	5	0	0	B	<ul style="list-style-type: none"> ・計画にはなかったが、電子入札システムの導入に向けて進めている。 ・当初の工程表にスピード感がない。早期前倒しでの構築をすべき。
223040	電子申請の推進	5	0	0	A	<ul style="list-style-type: none"> ・上の「223030電子入札・契約の促進」とも連携して推進されたい。 ・新型コロナウイルス感染症で電子申請サービスがオンラインで進んだと感じている。 ・庁内での推進だけでなく、市民向けの広報にも注力されたい。
223050	仮想化技術の利用による端末の集約化の検討	5	0	0	D	<ul style="list-style-type: none"> ・システム更新時でないで費用対効果等が見込めないとあるが、職員の業務効率化などのメリットはないのか。 ・情報ネットワーク・インフラのことは専門的過ぎてよくわからないので、補足説明等がないと判断しかねる。 ・費用対効果のみで考えるのなら、計画検討当初に気づくべき。

柱3 将来を見据えた持続可能な財政基盤の確立

施策 自主財源の確保と新たな財源の創出

細施策 税等の適正賦課及び収納率の向上

管理番号	実施計画名	二次評価結果			担当課 自己評価	コメント欄
		妥当である	わからない	妥当でない		
31110	債権の収納率向上	5	0	0	A	・単年度計画の目標額を上回っているため。 ・計画名が収納率向上であるが、収納率が表記されていない。債権額(分母)が変わるものなので目標額ではなく、目標率で見るとは？と思う。
31120	キャッシュレス決済の導入	5	0	0	B	・利用実績が示されていないのでどこまで周知されたか、次年度以降への基準が示せていない。
31130	固定資産税(償却資産)の調査	3	0	2	B	・計画の「既申告事業者の調査約10件」に対し、実績は0件効果額0円/1500万円で計画通りといえるのか。
31140	個人市・県民税に係る課税ベースの拡大	5	0	0	B	・数値は遅れているように見えるが、初年度なので判断が難しい。 ・未申告の補足の進捗は、計画を上回ってほしい。
31150	法人市民税に係る課税ベースの拡大	5	0	0	B	・計画を上回るように努めてほしい。

細施策 受益者負担の適正化

管理番号	実施計画名	二次評価結果			担当課 自己評価	コメント欄
		妥当である	わからない	妥当でない		
312010	使用料・手数料の見直し	5	0	0	B	・見直しはなかったが計画通り進んでいる。
312020	道路占有料の見直し	5	0	0	C	・やむを得ない事情で遅れている。 ・地価の変動に連動した修正が目的であれば、下落を理由に見送るのは適切か。 ・計画を上回るように努めてほしい。

細施策 市有財産の活用及び売却等の推進

管理番号	実施計画名	二次評価結果			担当課 自己評価	コメント欄
		妥当である	わからない	妥当でない		
313010	貸付・売却可能な市有財産の公開と公売の推進	5	0	0	A	・未利用財産をホームページで見たが意外と少ないかった。もっといろいろあると思っていた。
313020	多目的室等の貸室化	5	0	0	C	・コロナ禍で積極的に貸し出せない。遅れは仕方ないと考える。 ・多目的室利用の手引きを見ると、料金も使いやすい設定だと思いました。コロナが終われば多く利用されることと思う。 ・ただ単に貸出しを管理するだけでなく、貸出しの広報や利便性の向上などをするべきだと思う。
313030	廃校の有効活用の検討	2	0	3	B	・取り組み実績がなく、今年度何を行ったのかこの資料では分からない。計画通りには見えない。 ・利活用は他県に情報発信して企業誘致できればいいと思う。(鳥取を情報発信してくれるような会社)
313040	公共施設マネジメント民間提案制度の推進	4	0	1	B	・どんどん情報を出して、活用の候補を考えて、マッチングできれば良い。

細施策 新たな財源の創出

管理番号	実施計画名	二次評価結果			担当課 自己評価	コメント欄
		妥当である	わからない	妥当でない		
314010	発行物、市有財産への広告掲載(成人式案内通知)	5	0	0	D	・ハガキでは情報量が少ないのでは？鳥取をアピールするパンフレットやクーポンを送ってはどうか。
314011	発行物、市有財産への広告掲載(庁内パソコン)	5	0	0	B	・効果はこれからに期待したい。 ・30万円の効果なら鳥取市を宣伝したほうが良いのではないかな。
314020	ネーミングライツの推進	5	0	0	D	
314030	全庁的な広告事業の推進	5	0	0	B	・単年度計画にある協議についての実績など、この資料だけでは分からないことが多い。具体的な記載をお願いしたい。 ・30万円の効果なら鳥取市を宣伝したりしたほうが良いのではないかな。市の車に企業広告が貼り付けてであると違和感がある。
304140	クラウドファンディング活用の推進	5	0	0	C	・新しい取り組みは、計画を上回って進めてほしい。
314050	ふるさと納税の推進	5	0	0	C	・スピード感を持って対応してほしい。 ・定期便は良いと思う。

314060	企業版ふるさと納税の推進	4	0	1	B	<ul style="list-style-type: none"> ・寄付の募集、受け入れまでが計画だったが至らなかったとのことなので、遅れているのではないかと。 ・一件でも実績が必要ではないかと。
314070	効率的な公金の運用	5	0	0	B	<ul style="list-style-type: none"> ・個別成果指標は満たしていないが、効率的な運用面では妥当かと。

施策 公有財産の整理合理化と適正な財政運営の推進

細施策 戦略的な予算配分の推進

管理番号	実施計画名	二次評価結果			担当課 自己評価	コメント欄
		妥当である	わからない	妥当でない		
321010	補助金適正化の推進	5	0	0	B	<ul style="list-style-type: none"> ・補助事業がすべて利益を上げて補助の必要がなくなればもったいよい。
321020	投資効果を踏まえた事前評価制度の構築	0	0	5	B	<ul style="list-style-type: none"> ・事前評価要綱の重要性が分からないので、作成できなくても計画通りかどうかの判断が難しい。 ・策定に至らなかった事前評価要綱と、政策レビューシート・新規事業シートとの関連性、補完性が不明。

細施策 公共施設再配置の推進

管理番号	実施計画名	二次評価結果			担当課 自己評価	コメント欄
		妥当である	わからない	妥当でない		
322010	再配置基本計画に沿った施設のあり方検討の推進	5	0	0	B	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の成果に期待する。 ・さらにスピードを上げて行って欲しい。
322020	施設の複合化や集約化の推進	5	0	0	B	<ul style="list-style-type: none"> ・さらにスピードを上げて行って欲しい。 ・実績及び担当課評価が上記「322010再配置基本計画に沿った施設のあり方検討の推進」とほぼ同内容であることが気になった。 ・少子高齢化社会の旗振りになるような対応ができることを期待する。
322030	校区再編の推進	5	0	0	B	<ul style="list-style-type: none"> ・集約は仕方ないのだから、前向きに、進化したこれからの教育の議論を。

細施策 新たな事務経費削減手法の展開

管理番号	実施計画名	二次評価結果			担当課 自己評価	コメント欄
		妥当である	わからない	妥当でない		
323010	庁内備品の共同利用	5	0	0	C	・成功事例もありそうなので、参考にして早い解決を。 ・合理化は急ぐべき。効果額も設定すべき。
323020	学校施設維持管理の効率化	5	0	0	B	
323030	システムの共同利用の推進	5	0	0	B	

細施策 将来を見据えた計画的な財政運営の推進

管理番号	実施計画名	二次評価結果			担当課 自己評価	コメント欄
		妥当である	わからない	妥当でない		
324010	市債発行の抑制と計画的な公共事業の推進	5	0	0	B	・高い効果額が見込めるので、力を入れてほしい。
324020	中長期財政計画の策定と公表	5	0	0	B	
304030	一時借入金利子の軽減	5	0	0	A	・良い効果が出ている。
324040	外郭団体の経営健全化(全体方針)	5	0	0	C	・経営改善計画書を見てみると一般企業ならつぶれているかも知れないのに、もっと外郭団体の努力と行政のスピードが必要なのではと思う。
324041	外郭団体の経営健全化(土地開発公社)	5	0	0	C	・もっと取り組んでもらいたい。
324050	公営企業の経営健全化(市立病院)	5	0	0	C	・コロナ禍による遅れの中にも前向きな取り組みが見られる。 ・準備して対応してもらいたい。
324051	公営企業の経営健全化(水道局)	5	0	0	B	